

知的障害教育における各教科等の指導目標の設定及び学習評価を行うためのツールの開発（令和2～3年度）

県総合教育センター特別支援教育部

1 研究の概要

これまで、知的障害特別支援学校や知的障害特別支援学級においては、児童生徒一人一人の教育的ニーズを基に、自立し社会参加するための指導を行い、大きな成果を上げてきている。

一方で、児童生徒一人一人に応じた各教科及び自立活動の指導目標を設定して授業を実践し評価をすること等については、難しさを感じるとの声も少なくない。特に、各教科等を合わせた指導については、手続きが複雑であり、指導計画の立案や評価について課題があると考えられる。

このような現状を踏まえ、県総合教育センター特別支援教育部では、本年度から2か年計画で、知的障害教育における各教科等の指導目標の設定や学習評価を行うためのツール（以下、「ツール」）を開発することとした。

2 質問紙調査の実施と結果の分析

今年度は、ツール開発のための基礎資料とするため、質問紙調査を実施した。調査対象は、県内の知的障害特別支援学校及び知的障害特別支援学級からの抽出とした。

その分析結果から、ツールに次の（シート1～4）のような内容を取り入れることが有効であることが分かった。

- （シート1）各教科の目標設定を行うシート
 - （シート2）自立活動の目標設定を行うシート
 - （シート3）各教科等を合わせた指導の指導内容の設定を行うシート
 - （シート4）個別の指導計画の様式
- ※ツールは、表計算ソフトを用いて作成する。

3 ツールの開発について

質問紙調査の結果を踏まえ、次年度はツールの開発を進めていく。ツール内の各シートには以下のような工夫を取り入れる。

（シート1、2）は、学習指導要領の内容を簡単な操作で閲覧できるようにし、記入の際に参考にできるようにする。

（シート3）は、各教科等の目標を達成させるために各教科等を合わせた指導を行うという流れが徹底できるよう、シートの内容やシート間の連携機能を工夫する。（図1）

（シート4）は、指導要録とのつながりを踏まえ、様式等を今後検討する。

図1 （シート3）一部掲載

4 次年度に向けて

本ツールを活用することにより、知的障害教育における各教科等の指導目標や各教科を合わせた指導の指導内容の設定、そして学習評価が、より適切に行えるようになると考えている。

次年度はツールの開発を進め、次年度末には県総合教育センターWebページにて公開をする予定である。